

市議団ニュース

木村奉憲 22-8567、杉野 修 58-9010

石田利春 52-7260、渡辺昌代 21-9058

一般質問特集

ごみ指定袋の導入は市民も反対
指定袋廃止で統一を

渡辺昌代

問 合併後3年以内に統一する方針のゴミ行政は、指定有料ゴミ袋導入が市民に知らされた。導入の理由として①廃棄物の抑制 ②管外持ち込み、不適物混入の防止 ③県内過半数以上の自治体で実施していることを上げている。しかし、指定袋を導入している自治体の人口比は38.3%に過ぎない。しかも旧久喜市では県内でもトップクラスの減量化を実現している。市民団体から請願が出され、宮代町議会からは「ゴミ袋指定は慎重に」の意見書も出されている。日本共産党は「指定袋による収集に反対」の申し入れ書を提出した。すでに理由とする根拠は理由になっていない。有料化になれば、率先して協力してくれていた方、残物の扱い方など、小さな地域コミュニティがくずれる。

大きな市民意識の後退がおこるのではないか。これは合併の弊害ではないのか。多くの市民、団体が反対している中で、状況調査や意見収集もせずに進めている。市長としてそれでよしと考えるのか。

答 減量化が図られることで別の財源にまわせる。市民の意識を変える。ご負担をかけることになるが、意識の統一化にもつながるので理解していただけるよう努力したい。

児童虐待について

問 児童虐待の早期発見、未然防止、育児相談の手立てとして、母子訪問事業、ブックスタート事業など子どもを育て支える環境、体制を工夫してほしいが。

答 関係機関と連携を図りながら行っていく。

合併前の自治体が埋めたゴミ問題
調査をして適正な処理を

杉野おさむ

問 この間、障がい者デイケア施設「趣味の家」の移転予定地から大量のゴミが出てきました。これは八甫にクリーンセンターができる前に処分できないゴミなどを鷺宮町と栗橋町が公有地（借地を含む）に埋めていたものです。総量も半端ではありません。ゴミの最終処分場について国の基準は、1977年に届け出になっていました。したがって、それ以降に許可なく埋めていたゴミは「違法」ということになります。関係者の証言では、20年間以上埋設していたことになるので違法は明らかです。しっかりした調査の上で、ゴミを一定量出した跡地に「震災被災地のガレキを受け入れることもふくめ、住民にオープンにしたうえで、法にかなった解決を図るべきではないでしょうか。

答 これ以上調査はしない。予定通り移転する。

青毛堀川の拡幅工事は
「多自然型川づくり」で

問 青毛堀川の拡幅は、中央1丁目や鷺宮団地の冠水対策としても期待されています。しかし、現在の工法は、コンクリート使用も多く自然に配慮したものにはなっていません。自然な形態をできるだけ残し、景観も大事にした整備にすることが求められます。

そこで今回は、次のことを提案しました。

- 1、周辺の動植物など生態系を把握すること
- 2、水際線は「曲がり・膨らみ」をつける（流れを単調にせず多様な生態系をつくる）
- 3、日本古来の伝統工法を利用し、「瀬」や「淵」をつくる

答：市側は「水を流すことを主にした整備なので」と提案には消極的でした。

市政に対する質問をおこないました

「国保値上げしないで」市民団体
からの請願が審議されます

15

9時

（木）福祉健康
常任委員会

放射能汚染対策では 市独自の基準値設定を

木村奉憲

問 放射能汚染対策で市独自の基準を設け、除染対策をするべきだ。

答 年間1ミリシーベルト、毎時0.23マイクロシーベルトを基準値にすることを11月24日に市長決裁した。

問 県内では毎時0.19マイクロシーベルトの基準値でさらに安全を図っている自治体もある。低くすべきだが。

答 国際放射線防護委員会の基本勧告と原子力安全委員会の基本的な考えを踏まえて文部科学省、県の指針を参照に基準値を0.23マイクロシーベルトとした。

問 学校給食食材の検査機器を市で購入すべきだ。

答 学校給食では国民生活センターから長期に借り受ける予定で申請中。基本的には購入時に検査で安全なものを仕入れている。

問 測定器をもっと購入し、市民への貸し出しをすべきだ。

答 さらに4台購入するので、総合支所にも置き、公共機関などでの測定を実施後、検討する。

税と社会保障一体改革は 住民利用者の負担増に

問 国は「社会保障・税一体改革」で、住民への負担増を強行しようとしていることは問題だ。医療で外来時100円の定額負担、70歳から75歳の窓口負担を1割から2割へ、介護では要支援・要介護1の保険からのはずし、認定者の3%抑制、生活保護では支給額の減額、「支給期間の制限」医療扶助の自己負担導入等消費税の10%の導入の上、一体化を進めようとしている。市の影響も大きいのではないか。

答 影響を受けることもあるが、従来の制度を維持できるようにしたい。今後については国の動向を注視していきたい。

一般質問特集

循環バスを旧3町にも走らせて デマンドバスは旧久喜の市街地まで

石田利春

合併後循環バスを栗橋・鷲宮・菖蒲地域にも走らせてほしい。この願いはアンケートでも一番の願いです。この間久喜市では公共交通検討委員会を設置し、合併後の循環バスをどうするのか検討されてきました。10月27日にまとめられた案は、「栗橋・鷲宮」と「菖蒲」地域はデマンドバスで、「旧久喜市」の中心部は循環バスという内容です。デマンドバスが走ることは高齢者の方などにとってはとても良い方式で歓迎するものですが、範囲が(栗橋・鷲宮)というように旧町の地域に限られ、新久喜市のどこへでも行けるものではありません。具体的には、栗橋から久喜の市役所まで行く場合デマンドバス一本では行けないということになります。

問 デマンドバスは乗換なしで市役所まで行けるようにすべき。同時に旧久喜市で走っている循環バスを延伸して走らせるべきではないか。

答 時間がかかり利便性に欠ける。費用対効果や交通弱者を考え、コースなどについては今後「地域公共交通会議」の中で検討していきたい。

今後、循環バスのコースなどについては、合併して周辺の街がさびれていくことのないよう、活気ある一体感のある新久喜として発展するよう検討をすすめるべきです。

デマンドバスってどんなバス

乗りたい人の自宅まで来てもらえるバス
走り方はいろいろあります。

